

## 訓練センター「実動対抗演習」(8/23~) 中止を要請

陸上自衛隊北海道訓練センター実動対抗演習が、今月23日から矢臼別演習場で行われることについて、町から通知がありました。(概要は下記)

上出雅彦会長と相談し、訓練を所管する陸自教育訓練研究本部・廣恵次郎本部長に対し、演習の中止を要請することにしました。要請文書は矢臼別平和委員会・上出雅彦会長名で、8月12日速達で廣恵本部長宛郵送しました。

### <要請書の主内容>

- ① コロナ禍、また、物価高騰の中にあつて、国民の命と生活を守るため、その対策に財政を含め国力を集中しなければならない。演習に係る費用は莫大な額になる。そのような税金の使い方を国民は望んでいない。
- ② 3000人以上の隊員が日本列島、北海道を縦断する大移動となる。新型コロナウイルス感染拡大が最悪の状況にある時、それは許されることではない。
- ③ 以上のことから、演習は中止すべきであり、中止を要請する。
- ④ どうしても実施するというのであれば、最低でも町民に演習を公開すべきである。演習の公開を加えて要請する。
- ⑤ 当要請に対する回答を、文書により、演習開始前に当会に送ること。

### 令和4年度北海道訓練センター第3回実動対抗演習等の概要

(別海町の通知文書より)

期 間 令和4年8月23日(火) ~ 8月29日(月)  
内 容 訓練評価支援隊が訓練を統制し、両師団が実動対抗演習を行う  
人 員 第1師団(司令部;東京) 約1,570名 第2師団(司令部;旭川) 約850名  
訓練評価支援隊 約740名  
装 備 90式戦車、155mmりゅう弾砲、軽装甲機動車 等  
ヘリコプター (UH-1J、AH-1S)

※特色…北海道の良好な訓練基盤の活用

実相に近い作戦環境下での諸職種協同による連隊規模での実動対抗演習

## 実動対抗演習めぐり、曾根町長にも要請(8/12)

12日午後、上出会長、中村事務局長が町長室を訪れ、曾根町長に対し実動対抗演習の中止を関係機関に申し入れるよう要請を行い、40分間懇談しました。

特に、当演習に付随して16日から事前準備・事前教育と称して、自衛官370人が別海町生涯学習センター(みなくる)を使用することになっていることに対し、使用を許可しないよう強く要請しました。町長からは「町内のコロナ感染拡大の状況を見れば、最大限の注意が必要なときだ。今回のような自衛隊の使用はしてもらわないようすぐ手配する」という返答がありました。